

第33回 地域の声委員会の概要について

平成26年10月23日に開催した地域の声委員会では、平成26年度第2四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに今後の広報活動等に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、685件の“声”をいただきました

(平成26年度第2四半期)

発電所見学会でいただいた声、当社社員による訪問活動でいただいた声、発電所に直接電話をいただいた声、広報誌「ニュースアトム」などの添付ハガキによる声など、多くのご意見・ご要望をいただきました。

【いただいた主な声】

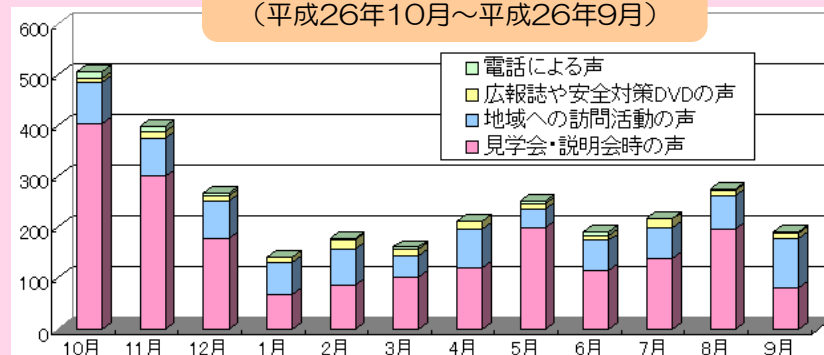
- ・視察会により安全対策を理解できた。多くの人に現状を見てもらうことが重要。
- ・訓練は非常に大事。マンネリ化しないよう取り組んでいただきたい。
- ・「現場力」を高める努力を日々行ってほしい。これで十分という対策の万能薬はないが、リスクを補うのは最終的には現場力だと思う。
- ・福島第一原子力発電所の溶けた燃料を早く回収してほしい。次の世代に迷惑をかけないことが今の大人の責任である。
- ・使用済核燃料の最終処分・保管場所の確保が必要である。
- ・更なる対策の充実と人材の確保・育成に取り組んでほしい。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き、以下の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールにおける説明会や見学会を継続して開催してまいります。
- 地域の皆さまからのご意見やご質問にお答えすることで、ご不安の解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、発電所と本店で共有し、広報活動等に活かしてまいります。

いただいた声の件数
(平成26年10月～平成26年9月)



皆さまからいただいた声を今後の広報活動等に役立ててまいります。